

北九州市立小倉北ふれあい保育所（乳児部・夜間部） 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和7年10月3日（金） 14:30～15:15
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎11階 112会議室
- 3 出席者 検討会構成員：阿南構成員、大久保構成員、河崎構成員、
小竹構成員（五十音順）
事務局：子ども家庭局運営給付担当課長、給付担当係長、
担当職員
- 4 応募団体 社会福祉法人 正善寺福祉会

5 会議内容

○検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明

○構成員の互選により、座長を選出

○応募団体より提案概要の説明及び応募団体へのヒアリング

■構成員によるヒアリング

（構成員） 特徴的な保育の方法について、もう少し深く説明をお願いします。

（応募団体） 開所当初は、一斉保育を行っていたが、夜間部もあり7時から0時まで預かるので、子どもの登園時間が様々で、一斉保育は無理があった。そこで、3年ほど講師の先生と共に職員一丸となって、食事や排泄など、子どもたちの欲求や要求を受けとめ、子どもの生活リズムに、担当の職員が合わせ、その子どもに応じた日課を組み立てることにした。それが、流れる日課という保育方法である。

（構成員） 比較的都会に保育所があるので、園外保育の独自の工夫があれば教えていただきたい。

（応募団体） 公共交通機関を利用しやすいことが利点で、市内の色々な公共施設に行く。近くに勝山公園や水環境館があるので、2歳児も散歩に行ける。

（構成員） 貸借対照表等を見せていただいたが、資金繰りが苦しい時期があったとみられる。今後、そのような時の措置を何か考えられているのか。

（応募団体） 開所当初、全員新卒者で始めたが、夜間保育ということもあり、始めの5年くらいは職員が定着しなかった。ただ、定着した時のことを見越して、初年度から人件費の積み立てを行っていた。職員が定着してくると、経験年数が長くなり、今期から積み立てを取り崩している。

また、乳児部は安定的な運営ができており、他に運営している1施設も含め、総合的に運営できている。

資金に関しては、一番大きな課題と認識しており、将来的には、適正な定員設定、施設型給付で取れる加算を積極的につけていくなど、細かな部分を積み上げて収入が上がっていくよう取り組みたい。

(構成員) 資料の中に「育児日記」という言葉が出てくるが、これは手書きで作成するものなのか。

(応募団体) 0～2歳児は、手書きの育児日記を使っている。24時間の内容を保護者と保育士で記入できるという利点があり、使用している。

(構成員) HOPによる評価や保育環境評価などの客観的なツールを使っているが、職員に浸透するまでに研修を行うなどしているのか。

(応募団体) 子どもの発達を見ていくツールでHOPというものがあり、当園では研修会を行っている。HOPは子どもの発達評価、保護者の方のアンケート、保育環境評価等の5つのツールが入っており、デジタルで入力すれば、グラフ化したり、一元化したりできるもの。これを利用しながら職員や保護者と評価を共有し、保護者のニーズを把握して、保護者支援にも活用している。

○構成員は、応募団体からの提案概要のプレゼンテーション及び質疑応答を受けて各自得点を記入し、事務局が集計した得点を発表。その後、意見交換及び検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議を行い、検討会を終了した。

■総合的な所見内容

- ・育児担当制など、子どものリズムに合わせた保育方法を実践できており、大変素晴らしい。
- ・ICTを活用して、子どもの育ちを可視化する一方で、アナログも活用するなど、様々な工夫があり、保護者アンケートも高い評価となっている。
- ・財政面で若干不安はあるが、積極的に施設型給付の加算を取るなど、収入を増やす等の取組を行い、今後も頑張りたい。
- ・長きにわたる乳児・夜間保育所の実績に加えて、全国の保育所、大学関係者と共同研究に取り組み、科学的根拠に基づく実践に努めていることが高く評価できる。
- ・研修体制がしっかりと整えられており、実践に基づいた、保育者自身が主体的な園であると感じられる。ぜひ今後とも指定管理者として北九州市で唯一の夜間保育所を運営していただきたい。